

令和6年度仙台市立仙台高等学校道徳教育全体計画

関係法令等	学校の教育目標	仙高力～育てたい7つの力(資質・能力)	道徳教育の推進体制
日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領及び解説、「杜の都の学校教育」重点事項	【教育理念】自主自立 【教育目標】より良い未来社会の構築を牽引する人間を育成する	①幅広く学ぶ力 ②情報を処理する力 ③探究する力 ④表現する力 ⑤他者と協働する力 ⑥自ら考え行動する力 ⑦自他を尊重する力	道徳教育推進委員会 ◎教頭、○主幹教諭、道徳教育推進教師、部長、学年主任

社会の要請、地域や生徒の実態等
○情報化、グローバル化、少子高齢化、産業構造の変化等の社会変化に主体的かつ柔軟に対応できる生徒の育成が求められている。 ○学校行事や部活動等への意欲が高く、学習態度が良好な生徒が多い。地元で活躍している卒業生も多く、学校に理解があり、協力的である。

道徳教育の重点目標
○自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う ○いじめ防止に向けて、考え、議論し、提案する力を醸成すると共に、自他共に大切にし、人権が尊重される社会づくりに参画する力を育成する

各教科との関連
<p>国語：他者との関わりの中で伝え合う力を高めることは、道徳教育を進めていく基盤となる。我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うことは、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国の郷土を愛することにつながる。</p> <p>地理：多面的・多角的に考察し理解を深めることはそれを通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国やその文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることにつながる。</p> <p>公民：人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、幸福、正義、公正などに着目して、公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めることにつながる。</p> <p>数学：「数学を活用して事象を論理的に考察する力」、「事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力」、「数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力」を高めることは、道徳的判断力の育成にも資する。</p> <p>理科：自然と人間との関わりについて認識させることは、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成につながる。見通しを持って観察、実験を行うことや科学的に探究する力を育て、科学的に追究しようとする態度を養うことは、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度の育成にも資する。</p> <p>保健：様々な運動の経験を通して、粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加して協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にするといった態度が養われる。健康・安全についての理解は、健康の大切さを知り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善することにつながる。</p> <p>芸術：芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高めることは、美しいものや崇高なものを尊重することにつながる。心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことは、学校の教育活動全体で道徳教育を進めていく上で基盤となる。</p> <p>外国語：外国語の背景にある文化に対する理解を深めることは、世界の中で日本人としての自覚を持ち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献することにつながる。「聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮」することは、外国語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容さや、平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的な思考ができるような人材を育てることにつながる。</p> <p>家庭：家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図ると共にそれらに係る技能を身に付けることは、よりよい生活習慣を身に付けることにつながる。勤労の尊さや意義を理解することにもつながる。家族・家庭の意義や社会との関わりについて理解することや、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を育てることは、家族への敬愛の念を深めるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚を持って自分の生き方を考え、生活をよりよくしようすることにつながる。</p> <p>情報：情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせることにつながる。</p>

各年次の重点目標
<p>1年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規範意識や場面をわきまえた高校生活を促し、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ○予習・授業・復習の学習サイクルを確立させ、自ら学ぶ姿勢を育てる。 ○自己理解を深め、目標に向けて主体的に行動できる生徒を育成する。 ○学校行事や部活動等に主体的に参加できるように支援し、帰属意識や問題解決能力を培う。 <p>2年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣を土台に、礼節を重んじ、互いを尊重しあうなど、一人一人の人格向上を目指す。 ○中堅学年として果たすべき役割と責任を自覚し、仙高生として充実した生活を送れるよう、自己実現の達成へ向けて努力できる生徒を育成する。 ○授業および部活動に主体的に取り組んで、学習活動と部活動の高いレベルでの両立を図り、何事に対しても主体的かつ意欲的に取り組む姿勢を涵養する。 <p>3年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着を基盤とした、礼儀を重んじ、他者を敬う精神を養い、協調性を持って行動する態度を育む。 ○常に将来への展望を持ち、強い意思と変化に対応できる柔軟性な思考を持つことによって、自己の進路実現に向けて最後まで諦めず努力する生徒を育成する。 ○ホームルーム活動を中心に、部活動や学校行事に積極的に参加し、最高学年として果たすべき役割と責任を自覚し、人間性豊かな人格を形成する。

特別活動
<p>フェニックスプラン キャリア教育</p> <p>よりよい人間関係を築く力、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに参画する態度の育成</p> <p>○ホームルーム活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の責任を果たすとともに成員として望ましい態度や在り方を考え、健康で安全に学校生活が送れるよう努める態度を養う。 ・学業生活を充実させ、将来の生き方と進路を結びつけ適切な進路選択ができるような学習と姿勢を育てる。 ・社会の一員としての自己の生き方を探求する態度を育成する。 <p>○生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的・自発的学習を促し、自治的な活動の経験を通して主体的な態度、社会性や公民性を育てる。 <p>○学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸行事での体験を通して自主性、協調性、集団への帰属意識、豊かな心情を育てると共に、思いやり、奉仕の精神、公共性などの道徳性を身に付けさせる。

家庭・地域や異校種との連携
<p>学校・家庭・地域が連携し、情報を共有するとともに、学校公開日を設けたり、「地域広報誌」などを通して、子供の心を育てる共通の役割を担う者としての相互理解を図る。学校運営協議会での意見等を集約し、学校運営に生かす</p> <p>○家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三者面談、保護者会を計画的に実施するほか、クラス通信・学年通信を発行し、教育活動を定期的に情報提供する。 <p>○地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉施設や社会教育施設におけるボランティア活動や地域清掃活動・除雪等、生徒の地域活動の促進と地域との交流を促進し、生徒の豊かな心の育成のために相互理解を図る。 ○中学校・特別支援学校との連携 ・情報交換を密にして生徒の実態をつかみ、インクルーシブな社会の担い手としての自覚と他を思いやる豊かな心を醸成する。 ○大学・大学院との連携 ・出前講座、大学訪問、研究授業等の共同研究

総合的な探究の時間
<p>フェニックスプラン 進路指導・キャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な流動化する社会にあっても、具体的な社会像、将来像をイメージし自己の在り方・生き方や進路決定につなげられる力を育成する。 ○それぞれの課題に柔軟にたくましく対応するため、確かな視点を持ち、社会貢献できる力強い生徒を育てる。 ○自己理解を深め、希望に満ちた将来を展望し、人生観や職業観などの形成、自己の在り方・生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ○主体的な進路選択力の育成を図り、自己の夢の実現に向けて取り組むとともに、進路達成のため一途な努力を惜しまない生徒を育成し、進路目標実現を図る。

生徒指導
<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員の共通理解のもと、豊かな社会常識を身に付けさせ、基本的な生活習慣を確立させる。 ○生徒一人一人に真剣に向き合い、命の大切さ、人間尊重、思いやりの精神を育てる。 ○いじめ防止に向けて、人権の意義・内容や重要性を理解させる。

体験活動・ボランティア等
<ul style="list-style-type: none"> ○集団の中で役割や達成感を得られる体験活動を通じ、自己肯定感や自他共存の精神を育む。 ○自発的意思に基づくボランティア等を奨励し、自己実現への欲求や社会参加意欲を向上させ、自他尊重精神を育む。

学校の環境の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○物理的環境の整備 校舎大規模改修、清掃、掲示物整備 ○人的環境の整備 他者との信頼関係構築